

## 「ザアカイ」 ～本当に清い人とは～

ルカ 19：1～10

聖書には神様によって人生が180度変えられた人物が何人も登場しています。収税人ザアカイもイエス様に変えられた一人でした。(ルカ 19：1～10)この箇所に出てくるザアカイとは、「義人、清い人」という意味があります。しかし、彼はユダヤ人でありながらユダヤ人から不正にお金を巻き上げる取税人のかしらだったので、決して清い生活をしていたとはいえず、もちろん人にも愛されていませんでした。エリコの町にイエスが来たとき、背が低かったザアカイは、いちじくの木の上に乗ってイエスを見ていました。ザアカイは単純にイエスを見たかったのです。そのとき、イエス・キリストがザアカイの名を呼んだのです。ザアカイは、そこで素直に答え彼は変わりました。私達は、ひとりひとり名を呼ばれて集められました。私達は自分の人生の中で何かを期待し、誰かの期待に答えようとして生きています。ザアカイもそうでした。しかし彼はそれに答えることができず、人に愛を流すこともできずに生活していました。その彼が4倍にして返したというところに、ザアカイの気持ちが表れています。「人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」(ルカ 19：10)イエス・キリストは失われた人、つまり心が殺された(滅んだ)人を救いにきたのです。ザアカイがそうでした。ザアカイという名をつけてくれた親の期待に答えようと一生懸命でしたが、取税人のかしらになり、たくさんのお金を手に入れても、死んだ心は変わりませんでした。そしてイエス・キリストに出会った途端、彼の死んだ心が生き返り命を取り戻したのです。本当に清い人とは①見に行っただけ。ザアカイはイエス・キリストの様々なうわさを聞いて、「見てみたい」と思いました。私達も初めて教会に行った時、色々な感情がうごめいていたのではないのでしょうか。「宗教はちょっと」「何か見透かされそう」そのようなマイナスの思いもあったでしょう。反対に「もし今の状況が変わるなら」「何か変化が欲しい」「助けてもらえるなら助けて欲しい」素直な気持ちを口には出せずとも心の奥底には「どうにかしたい」とするような思いもあった人もいるでしょう。ザアカイもイエス様を見に行きたいと思った時、色々な事を思ったはずですが、そしてザアカイは最終的に「見に行く」事を選択し、行動しました。その行動があったから、ザアカイは「変えられる」というチャンスを手に入れたのです。私達も自分の気持ちに素直になれない事が多々ありますが、ザアカイのように自分の気持ちに素直になり行動する事が大切です。この素直さこそ清さです。②名を呼ぶイエス。ザアカイも単純に見に行ってイエス・キリストに名を呼ばれ驚いたはずですが、何万もいる群衆の中からザアカイを見つけ、イエス様は名前を呼びました。イエス様は、失われた人を探し、名を呼んだのです。あなたの名前も呼ばれています。呼ばれたことのある人は、思い出してください。聞いたことのない人は聞いてください。イエス様はあなたの目の前に手をさしのべ、あなたの必要を知り、満たそうとしてくださっています。人に愛されていなかったザアカイは自分の名を呼んでくれる人が必要でした。今のあなたの心に何が必要か、あなた以上にイエス様は知っていて、応えてくださいます。③素直に答えた。「ザアカイは、急いで降りて来て、そして大喜びでイエスを迎えた。」(ルカ 19：6)ザアカイは名前を呼ばれた瞬間に行動しました。木から下りるときに彼の心は変わり、素直に行動しました。あなたにしかにできないことがあります。その後のザアカイは誰かに強いられてでなく、1.25倍でよいものを4倍にして返すなど、自発的に喜んで施しをしました。これが本当に清い人の姿です。誰かに強いられてでもなく、やましい心でもなく、ただ受けた感謝を感じたぶんだけ、周りの人に与えていくことが大切です。メール、声をかける、会いに行く・・・私たちにできることをしていきましょう。あなたの中に名前を呼んでくれたイエス様があるのであれば、あなたが必要だと感じる人に、愛を与え、本当に清い人の歩みをしていきましょう。